

本資料は、マニユライフ・インドネシアが、10月21日にジャカルタで発表した英文プレスリリースの日本語訳です。ご参考資料として配布させていただいています。正式な内容のご確認につきましては、マニユライフ・ファイナンシャル社ホームページにてご覧いただけます。(www.manulife.com)



速報 2003年10月21日

news release

マニユライフ・インドネシアが ING - エトナ・ライフ・インドネシア (ING-Aetna Life Indonesia) を買収

ジャカルタ発 PT アシュランシ ジワ マニユライフ・インドネシア社 (PT Asuransi Jiwa Manulife Indonesia、以下「マニユライフ・インドネシア」) は、PT ING - エトナ・ライフ・インドネシア社 (PT ING-Aetna Life Indonesia、以下「ING」) を買収することで合意し、監督官庁の承認待ちとなっています。

ING はアジア・太平洋地域における同社の生命保険事業について、同社の力をマーケットおよび商品分野でリーダーとなれる地域に再注力していくことを決定したのに伴い、マニユライフ・インドネシアを売却先を選びました。この買収に伴い、マニユライフ・インドネシアは、ING に代わり、同社の既存保険契約者の利益を保護していくことになります。

今回の買収により、インドネシアにおける ING の銀行業務 (企業顧問サービス、証券業務を含む) が影響を受けることはありません。

マニユライフ・アジア業務統括マネージャー兼副社長であるヴィック・アップス氏は、「マニユライフ・インドネシアが ING 社の既存保険契約者の皆様を将来にわたって保護することができる最適の相手先であると評価されたことを嬉しく思います」と述べるとともに、「最近の PT チューリッヒ生命保険インドネシアの買収に続く今回の買収により、マニユライフは、インドネシアにおいて最も強固な経営基盤を持つ生命保険会社の一社としての地位を更に強固なものにできます」と語っています。

ING 社のアジア・太平洋地域の執行委員会メンバー兼 CEO であるジャック・ケンプ氏は次のように述べています、「マニユライフ・インドネシアは、ING - エトナ・ライフが築いた強固な基盤を更に確固たるものにできる会社であり、合併後の会社をさらに一段高いレベルに押し上げてくれるものと確信しています。当面、ING は銀行業務に専念し、インドネシアに貢献していきます」

18 年間に及ぶ慎重かつ優れた実績を生み出す事業運営により、マニユライフ・インドネシアは 12 年連続で純利益を達成しています。同社は、政府による規制を遥かに上回るリスクベース自己資本比率を恒常的に維持し、お客様および販売職員に、より優れたサービスを提供するための投資を継続しています。ING の 280,000 人に及ぶ既存保険契約者は、450,000 人を超えるマニユライフ・インドネシアの保険契約者とともに財務体質に優れた安全な企業であるマニユライフ・インドネシアの下に入ります。

マニユライフ・インドネシア取締役社長であるジョン・ハリソン氏は次のように述べています、「ING の保険契約者の皆様をマニユライフにお迎えでき大変嬉しく思います。当社は、既存の全ての契約をお引き受けすることをお約束していますのでご安心ください。また、同時に、インドネシアで最高の商品とサービスをご提供するべく最善を尽くす所存です。お客様は、マニユライフ・インドネシアという健全な財務体質を持った企業の下で、これまで以上に幅広い商品の選択肢の中から最適なサービスを選べるようになり、安全な金融機関の中で経済的保障という目標を達成いただけるものと確信します」

今回の買収では、マニユライフ・インドネシアは単独で全ての買収費用を調達しますが、これはまさに、インドネシア市場で今後長期にわたって事業を展開していくというマニユライフ・インドネシアの決意そして強靱な財務体質を実証するものです。取引条件等は開示されていません。

更に、ハリソン社長は、「当社は販売体制の一層の強化により、インドネシアの皆様で最高の保険および年金商品をお届けしていく決意です」と述べ、次のように結んでいます、「INGの生命保険事業の買収により、2,000名の熟練した保険募集人が加わることになり、当社の成長をさらに加速するのみならず、様々な分野でのサービスの向上に資するものと確信しています」

DPLK マニユライフ・インドネシア(DPLK Manulife Indonesia) について

マニユライフ・インドネシアは、1985年に設立されていますが、アジア地域で保険関連のメディアとして高い評価を受けている「アジア・インシュアランス・レビュー」誌主催の2002年度のアジア地域における「最優秀生命保険会社」賞を受賞しました。マニユライフ・インドネシアは同国における大手合弁生命保険会社のひとつであり、2002年においても「インフォ・バンク」(Info Bank)、「ピラー・ビスニス」(Pilar Bisnis) および「インベスター・マガジン」(Investor Magazine) 誌によりインドネシアにおける最優秀生命保険会社のひとつに選ばれています。同社は、インドネシアの生命保険業界において、どの競合他社よりも幅広く多様な商品とサービスを提供しています。本社をジャカルタに置き、3,600名におよぶ社員および専属保険募集人を擁し、同国国内31の都市に設置されている70個所に及ぶ支社販売網を通じて事業を運営し、45万名に及ぶお客様にご奉仕しています。

マニユライフ・ファイナンシャルについて

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェント及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2003年6月30日現在1,443億カナダドルとなっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社はトロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「0945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細はホームページ (www.manulife.com) をご覧ください。

INGグループについて

INGグループはオランダを発祥の地とする世界的な金融機関のひとつであり、銀行取引、保険、および資産運用の分野で幅広く活躍しています。INGは11万5千名を超える従業員を擁する企業グループであり、世界の60ヶ国で事業を展開しています。2003年6月30日現在、同社の管理する運用資産残高は4,524億ユーロを上回っています。アジア地域では、INGは14の国で営業を行い、1万3千名の従業員が働いています。INGグループについて更に詳しくお知りになりたい方は、同社のホームページ (www.ING.com) をご覧ください。

*本資料は、マニユライフ・インドネシアが、10月21日にジャカルタで発表した英文プレスリリースの日本語訳です。ご参考資料として配布させていただいています。正式な内容のご確認につきましては、マニユライフ・ファイナンシャル社ホームページにてご覧いただけます。(www.manulife.com)